

令和 5 年度
第9期介護保険事業計画策定のための介護事業所に関するアンケート
(事業所票) (従事者票)
アンケート集計結果

第 9 期山陽小野田市高齢者福祉計画及び
介護保険事業計画の策定に向けて

令和5年8月15日時点
山陽小野田市

目次

I	第9期介護保険事業計画策定のための介護事業所に関するアンケートについて--	2
1.	目的 -----	2
2.	調査の基準日 -----	2
3.	調査期間 -----	2
4.	調査方法 -----	2
5.	調査対象 -----	2
6.	回答実績 -----	2
II	アンケートの概要と考察 -----	3
	（事業所票） -----	3
	（従事者票） -----	3
III	（1）集計結果（事業所票） -----	4
III	（2）集計結果（従事者票） -----	9
IV	介護事業所に関するアンケート調査（調査票様式） -----	16

I 第9期介護保険事業計画策定のための介護事業所に関するアンケートについて

1. 目的

(1) 事業所票

介護事業所における介護人材確保・離職防止に向けた取り組み等の実態と課題を把握し、第9期高齢者福祉計画の策定へ反映することを目的として実施するものです。

(2) 従事者票

介護事業所従事者の、仕事への満足度や課題と考えること等の実態と課題を把握し第9期高齢者福祉計画の策定へ反映することを目的として実施するものです。

2. 調査の基準日

令和5年6月1日

3. 調査期間

令和5年6月15日から令和5年6月30日まで

4. 調査方法

(1) 事業所票：メールによる送付及び回収

(2) 従事者票：持参による配布、郵送による回収

5. 調査対象

(1) 事業所票：居住・通所系91事業所、訪問系21事業所（※1）

(2) 従事者票：訪問系事業所に従事する職員 21事業所 180名

6. 回答実績

(1) 事業所票：78事業所

【内訳】施設系35事業所、通所系32事業所、訪問系11事業所（回収率 69.6%）

(2) 従事者票：75名（回収率41.6%）

※1 居住・通所系：特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・介護医療院・認知症対応型共同生活介護（グループホーム）・特定施設入居者生活介護・有料老人ホーム等・通所介護・通所リハビリテーション
認知症対応型通所介護
訪問系：訪問介護・小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能居宅介護
定期巡回随時対応型訪問介護看護

II アンケートの概要と考察

(事業所票)

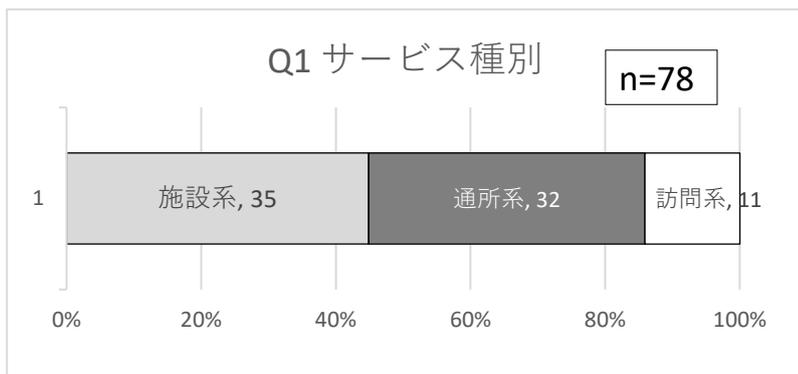
- 人材確保については、サービス種別にかかわらず、全体的に苦慮している状況がわかります。特に訪問系サービス事業では、「人員確保できておらず、慢性的に人材が不足している」と回答した割合が36%と、施設系11%、通所系6%と比べて高く、訪問系サービス事業所が人員確保に困難を感じていることがわかります。
- 職員の定着・離職防止のために事業では様々な取り組みをしていることがわかります。今後取り組みたいことで最も多かったのが、「賃金や労働条件の改善」でした。
- 人材確保の実態として、新規入職者が少ない現状であることがわかります。将来介護職に就く人を増やすために、学校教育の場における介護職への理解の促進や就職説明会を実施すること等で、介護職のPRに取り組む必要があります。
- 人材確保が難しい現状の中、外国人人材を現在受け入れている事業所は1%に留まっています。過去受け入れていた事業所も言語や文化の問題があり、受け入れの継続は難しい状況が伺えます。外国人人材の受け入れのハードルは高いものの、今後、介護人材の確保においては、外国人人材について、市と事業所と一緒に考えていくことが必要です。
- 人材募集ではハローワークや就職フェアの効果が高い結果となっていますが、知人等の紹介も効果があったという結果でした。従事者票でも知人等の紹介とハローワークが就職のきっかけとなっていることが多いという結果でした。
- 施設系サービスにおける看取りについて、72%の事業所が取り組んでいることがわかりました。看取り件数も増加傾向にあり、今後、施設での看取りの需要が高まることが予測されます。看取りに対応する体制の整備が必要です。
- 施設の待機者については、市内待機者127名のうち、介護保険施設73名、グループホーム16名、ケアハウス21名、有料老人ホーム17名でした。回答のあった29施設のうち、待機者がいないと回答したのは8施設でした。

(従事者票)

- 回答した訪問系介護事業所の従事者の80%が女性であることから、女性が働きやすい職場であることが、仕事の継続に影響することが考えられます。
- 回答者の68%が40歳代以上であり、45%と半数近くが50歳代以上となっています。事業所票でも、訪問系事業所が人材確保に苦慮している結果がみられることから、将来的に、訪問系介護事業所の従事者数は、高齢化に伴い減少していくことが考えられます。
- 就職のきっかけは、知人等の紹介が最も多い結果でした。
- 仕事の満足度については、「満足」「まあ満足」と回答した割合が1番高かったのは、「仕事の内容・やりがい」の88%でした。一方、「不満」「やや不満」と回答した割合が1番高かったのは、「賃金」の39%という結果でした。
- 回答者の多くは悩みを相談する相手がいる一方で、悩みを相談できる人がいないと答えた方もいました。離職防止の観点からも、市における相談体制の充実が必要です。

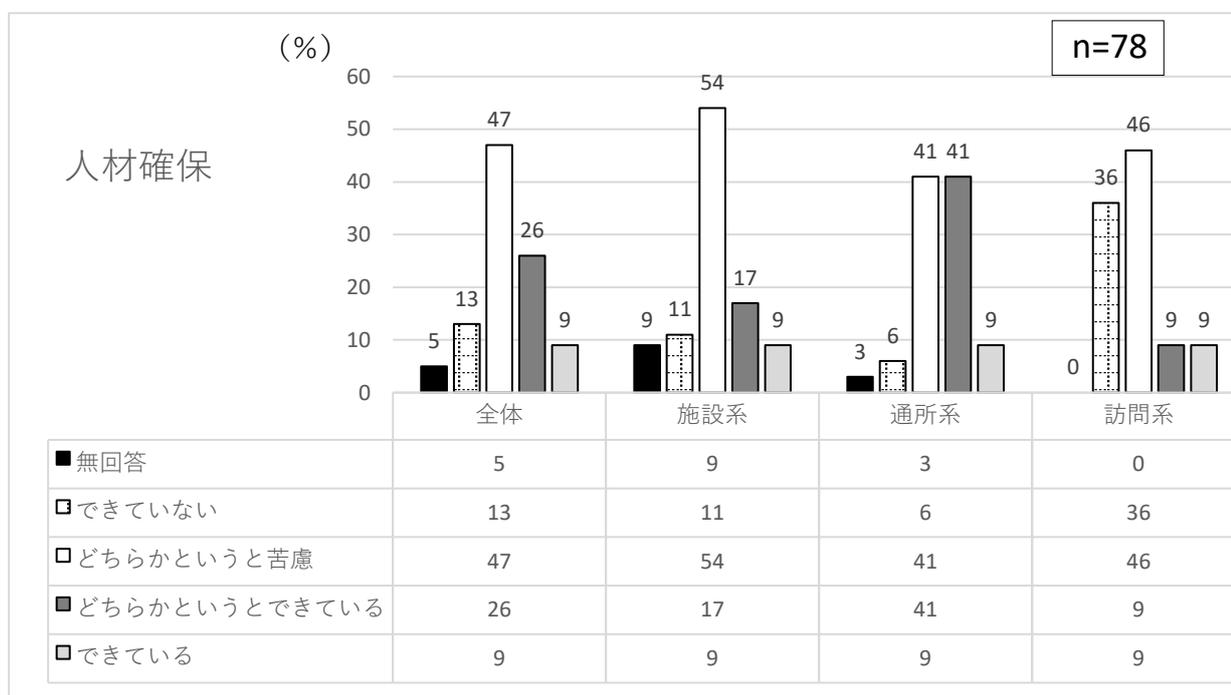
Ⅲ (1) 集計結果 (事業所票)

Q1 サービス種別

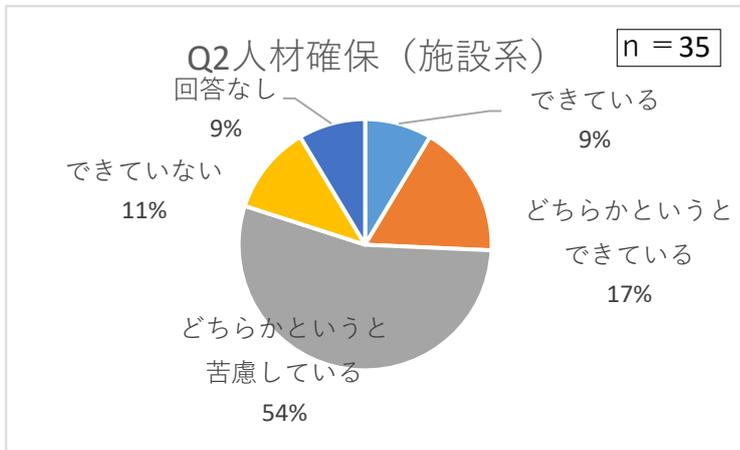


回答のあった事業所のサービス種別の割合です。

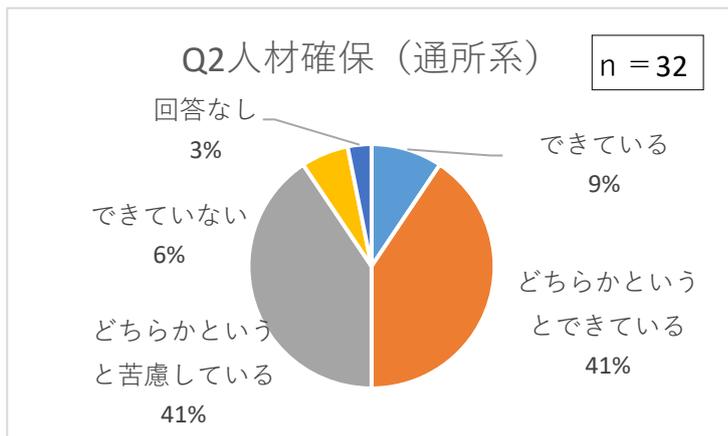
Q2 事業所の介護人材確保状況



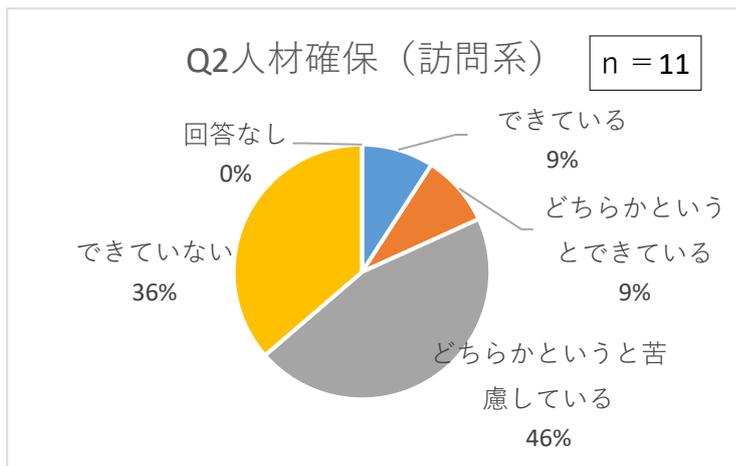
人材確保について、「できていない」と回答した割合が1番高かったのは訪問系事業所でした。全体的には、事業所の種別にかかわらず、人材確保に苦慮している状況がわかります。



施設系では、「どちらかというどと苦慮している」と回答した事業所が1番多く、54%でした。

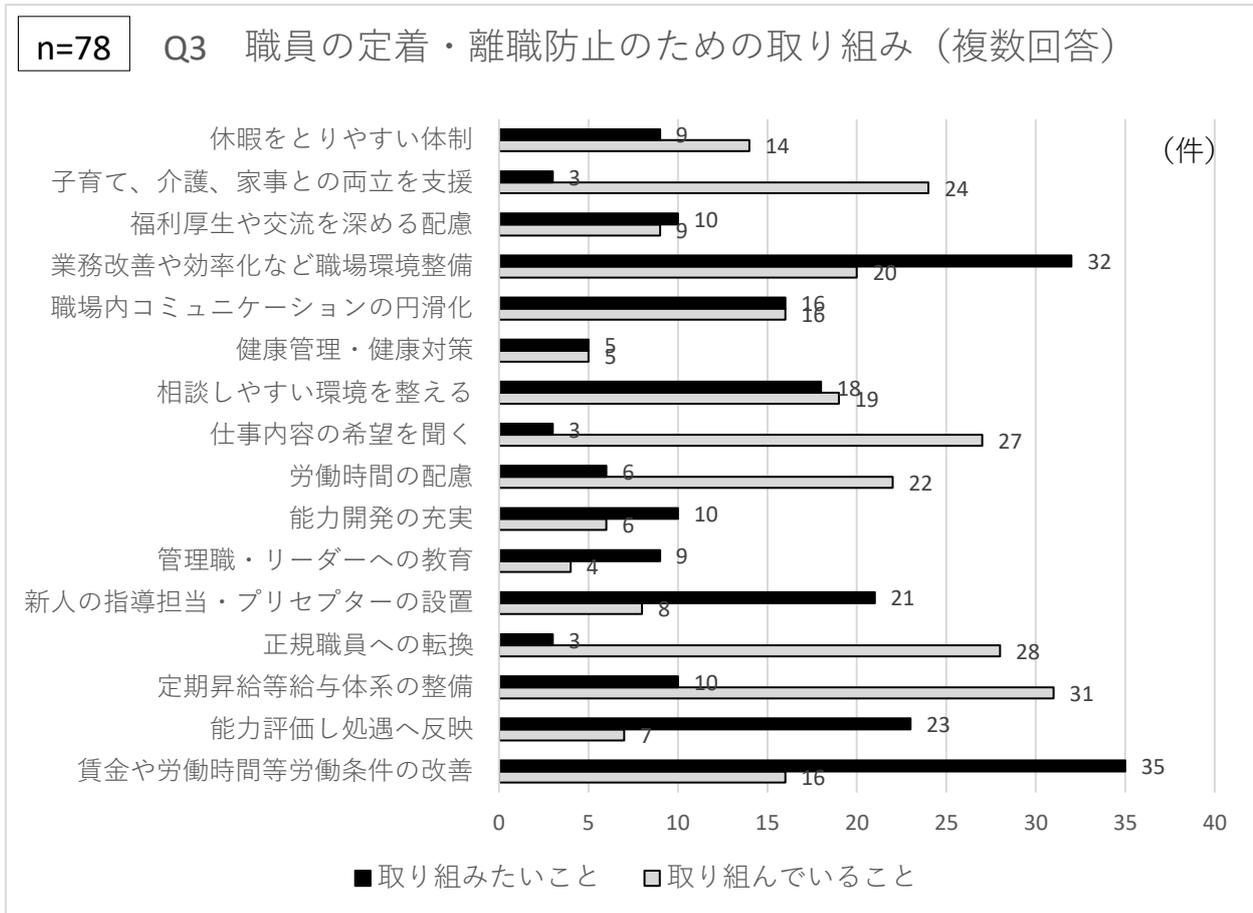


通所系では、「どちらかというどとできている」と回答した事業所と「どちらかというどと苦慮している」と回答した事業所が1番多く、共に41%でした。



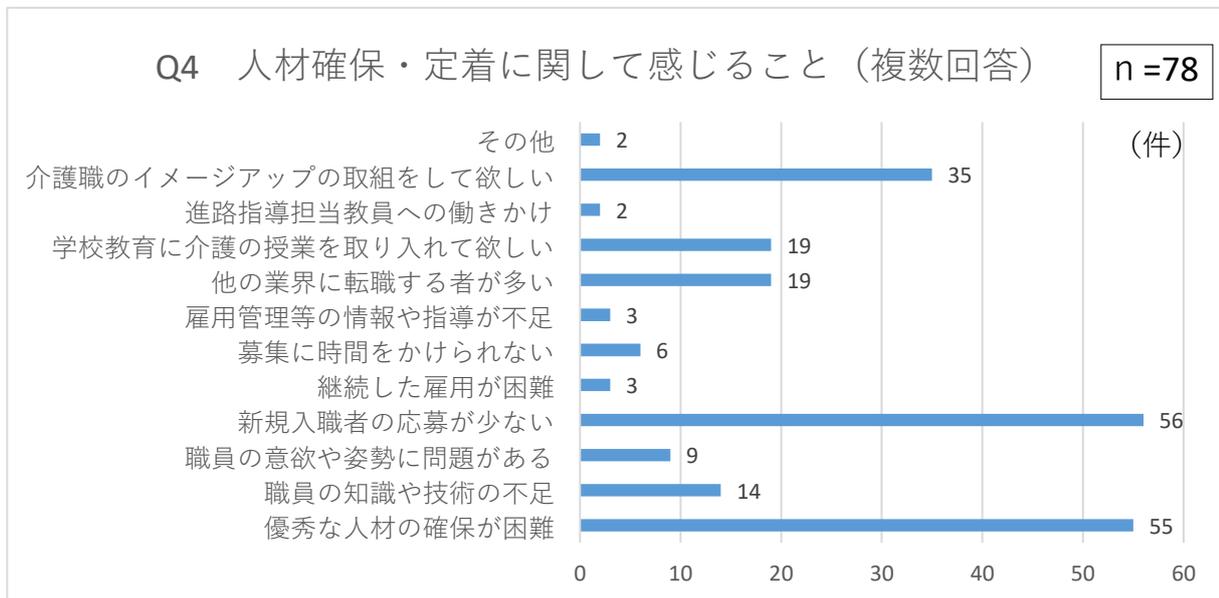
訪問系では、「どちらかというどと苦慮している」「できていない」と回答した事業所が合わせて82%でした。一方、「できている」「どちらかというどとできている」と回答した事業所は18%でした。

Q3-1 職員の定着・退職防止のために取り組んでいること・取り組みたいこと



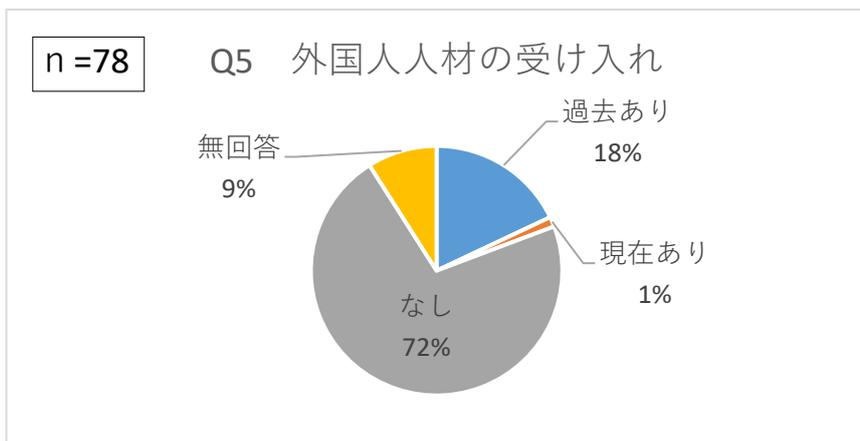
職員の定着や離職防止のために取り組んでいることで多かったのは、「定期昇給等の給与体系の整備」「正職員への転換」「仕事内容の希望を聞く」でした。今後取り組みたいことでは「賃金や労働時間等労働条件の改善」「業務改善や効率化など職場環境整備」の回答が多くみられています。

Q4 人材確保・定着に関して感じていること



人材確保・定着に対して感じていることで多かった回答は、「新規入職者の応募が少ない」「優秀な人材の確保が困難」でした。

Q5 外国人人材の受け入れ状況



外国人人材を現在受け入れている事業所は全体の1%でした。
外国人人材を受け入れたことがない事業所は全体の72%でした。

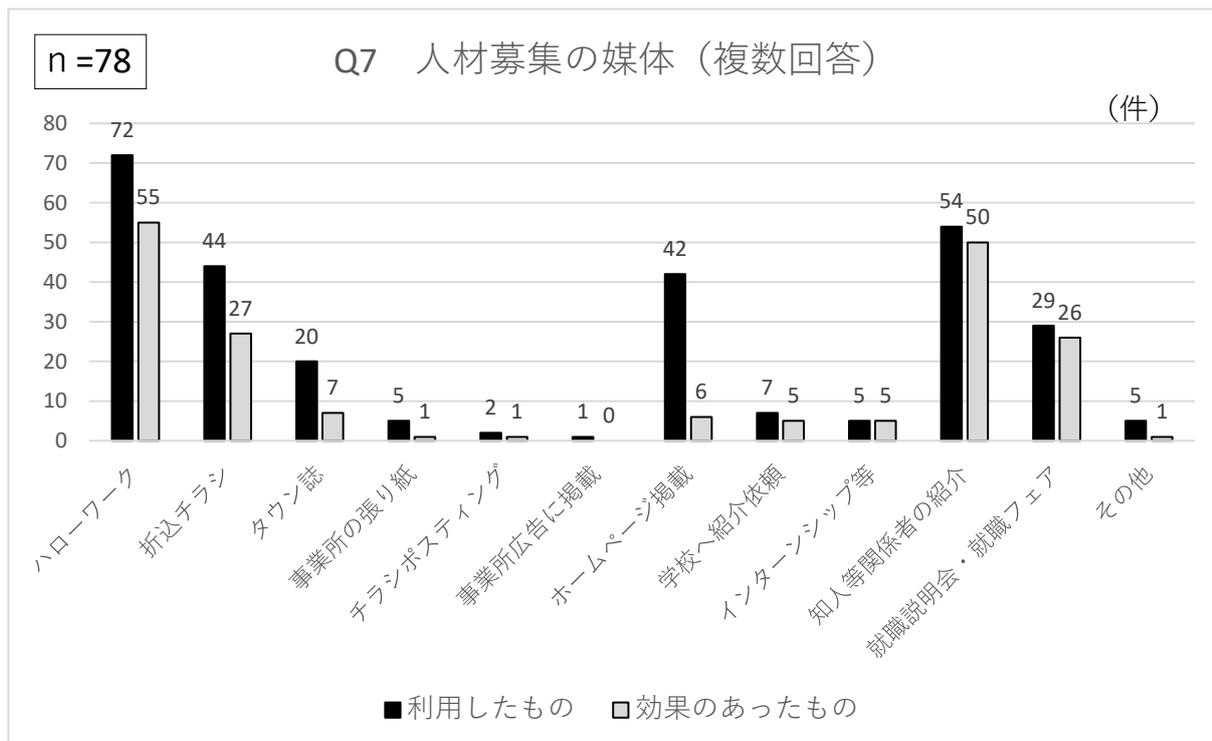
Q6 外国人人材の受け入れの課題と考えること

外国人人材の受け入れの課題として考えることについての自由記載は、以下のとおりでした。

「長期のビジョンが見出しにくい、言語教育が困難」

「文化の理解、言葉の問題」

Q7-1 人材募集を行う場合の媒体



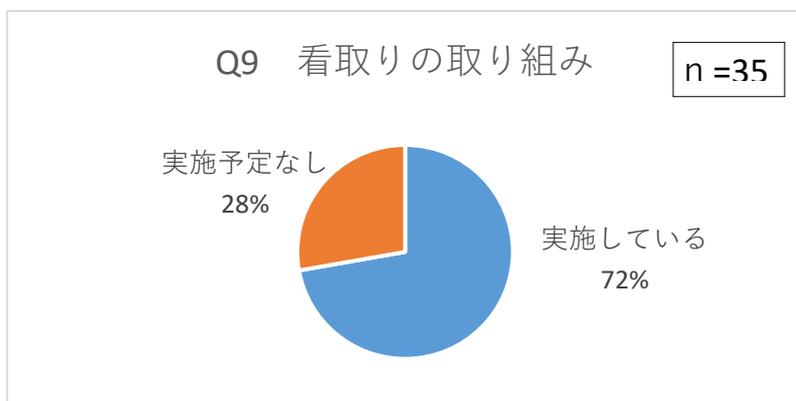
人材募集の利用した媒体で1番多かったのは「ハローワーク」で、次いで「知人等関係者の紹介」「ホームページ掲載」でした。そのうち効果のあった媒体で多かったのは、「ハローワーク」「知人等関係者の紹介」でした。

Q8 人材確保・定着に効果のあった取り組み

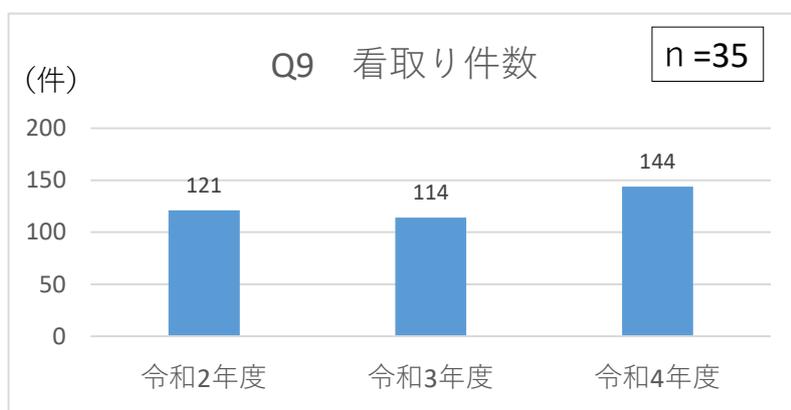
人材確保・定着に効果のあった取り組みについての自由記載は以下のとおりでした。

- ・ 休暇の取りやすさや業務改善の話し合いで離職なく経営できている
- ・ 密なコミュニケーションを図り、適切なアドバイスを行う
- ・ 管理者に求められる能力としてコミュニケーションが必要です
利用者とのコミュニケーションはもちろんですが、スタッフと協力して業務を円滑に進めるため、スタッフとコミュニケーションをとり、信頼を築くことで人材の定着になっています
- ・ 休みやすい環境作り、能力に応じた仕事の振り分け、人間関係の調整、交流機会の確保、労働時間の配慮
- ・ 職員同士のコミュニケーションをしっかりと、働きやすい環境づくりを行っている
- ・ 本人の生活の変化による就業時間の要望に応じて法人内の異動を検討すること
- ・ スタッフの希望する休みを取れるよう、それぞれの家庭環境等への理解を促す

Q9-1 看取りの取り組み（施設系のみ）



施設系で看取りを実施している事業所は72%でした。



看取りの件数は、令和4年度が144件でした。

Q10 待機者の状況（施設系のみ） 令和5年6月1日現在

市内	127名
市外	24名

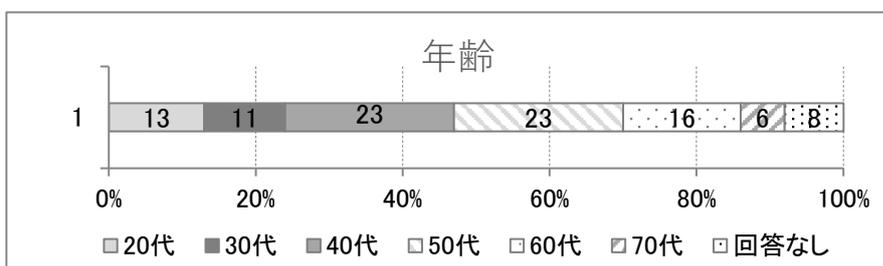
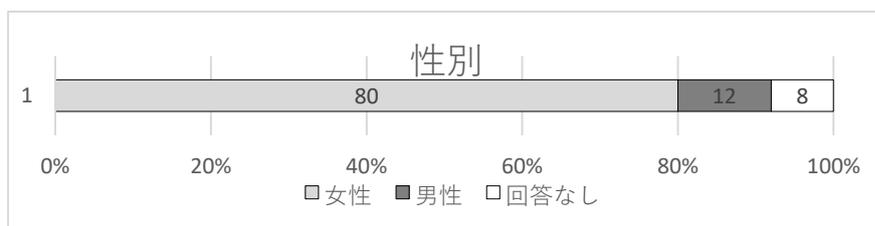
Q11 その他意見など

その他意見などについての自由記載は以下のとおりでした。

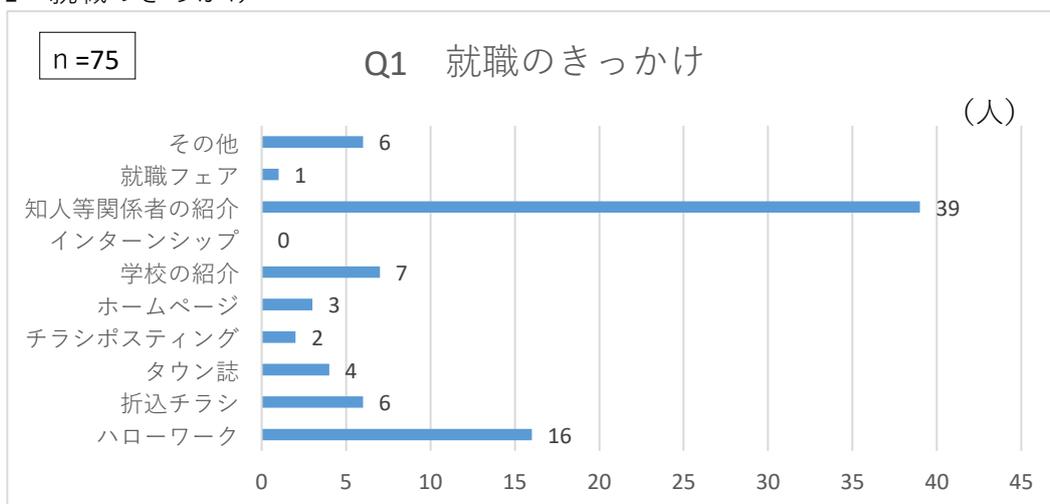
- ・福祉人材確保に向けての啓蒙活動
- ・他の介護保険施設への変更を希望させていただくこととなった場合は柔軟な対応をお願いします。

III (2) 集計結果 (従事者票)

回答者のうち、女性が80%で男性が12%、回答なしが8%でした。
年齢は40代、50代が23%と最も多く、次いで60代16%でした。

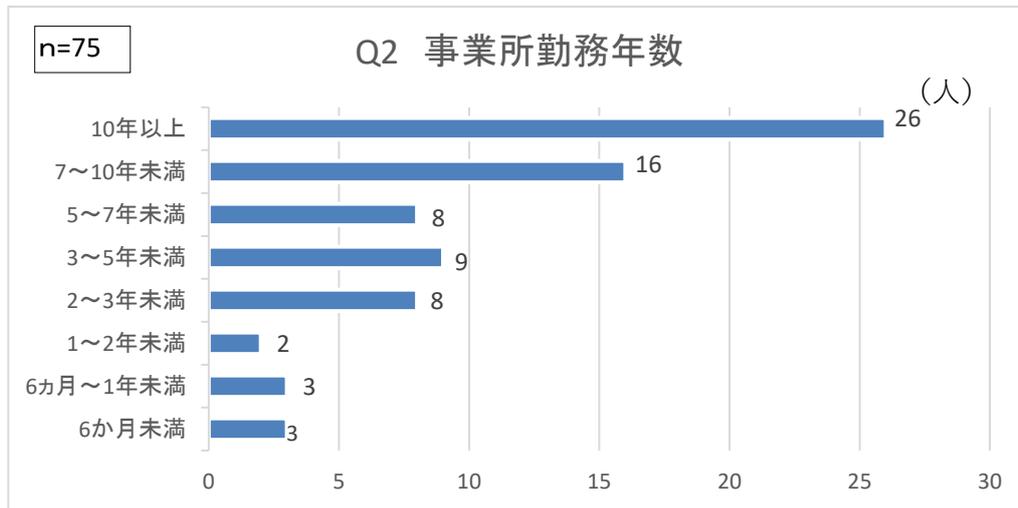


Q1 就職のきっかけ



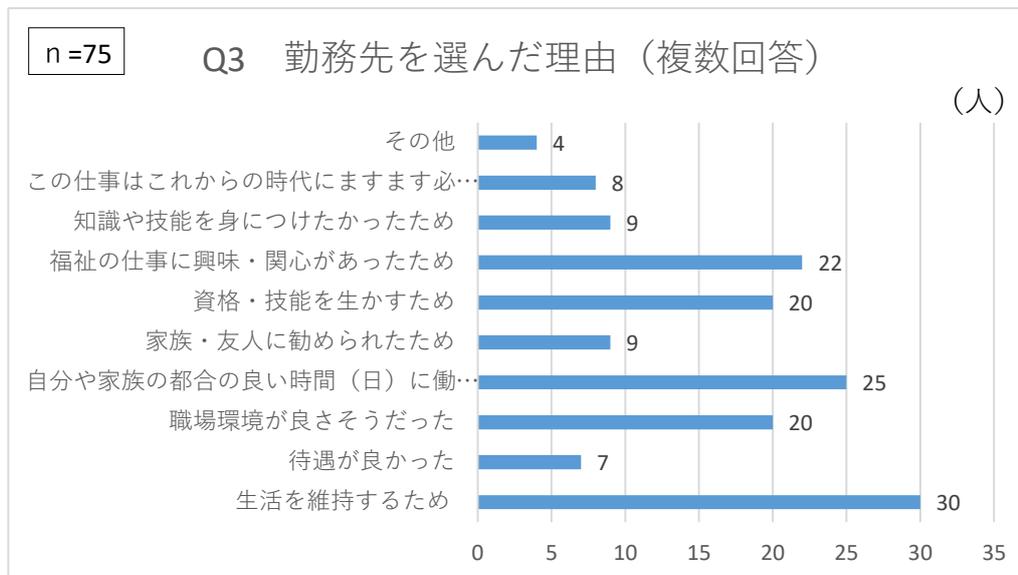
就職のきっかけは、「知人等関係者の紹介」が最も多く、次いで「ハローワーク」となっています。

Q2 現在の事業所勤務年数



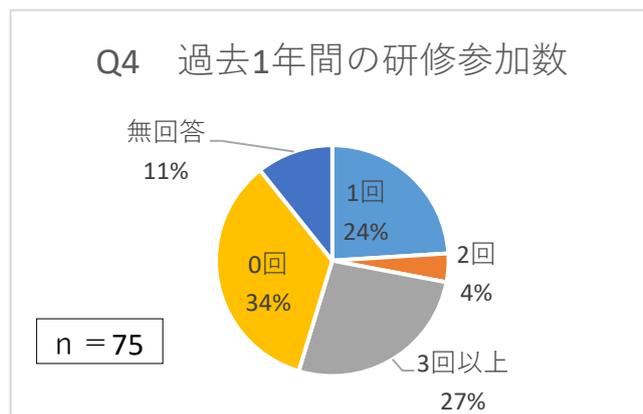
42人の方が7年以上の勤務となっており、全体の56%となっています。

Q3 勤務先を選んだ理由



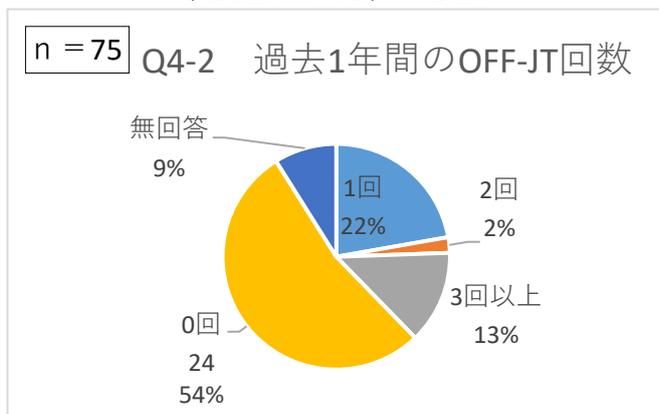
「生活を維持するため」が最も多く、次いで「自分や家族の都合のいい時間に働けるから」となっています。

Q4-1 1年間に参加した研修



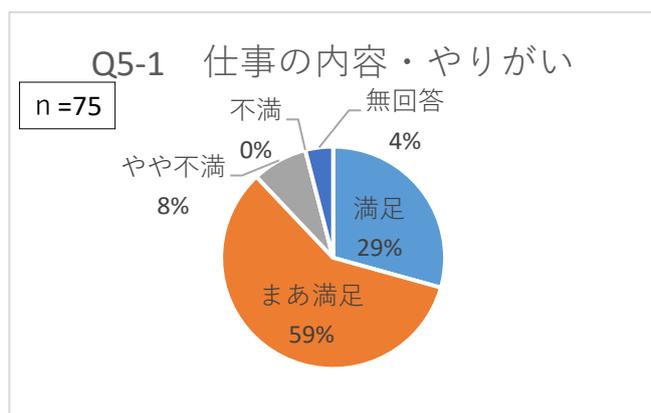
1年間に1回以上研修に参加した人が55%だったのに対して、0回の人34%でした。

Q4-2 OFF-JT（施設外の研修）の参加

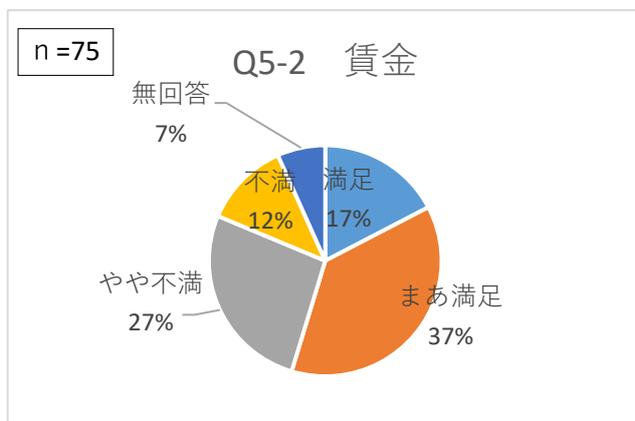


施設外の研修に参加した人が37%だったのに対して、0回の方は54%でした。

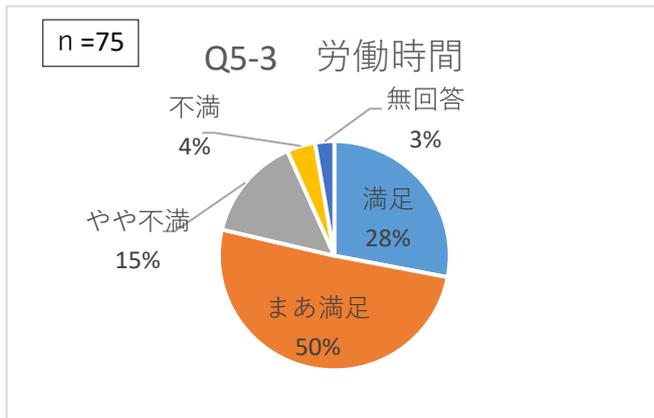
Q5 現在の仕事の満足度



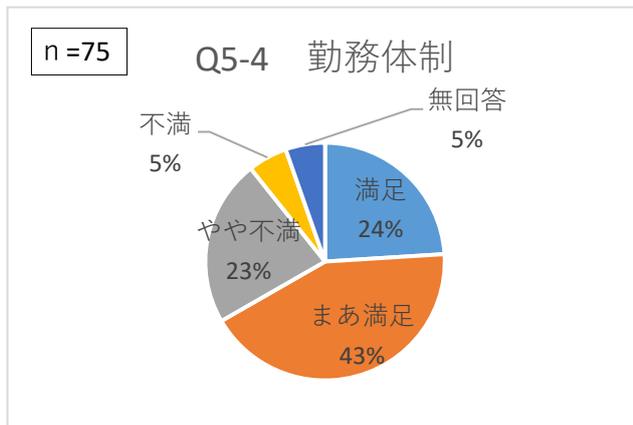
仕事の内容に「満足」「まあ満足」と回答した人は合わせて88%でした。
「不満」と回答した人はいませんでした。



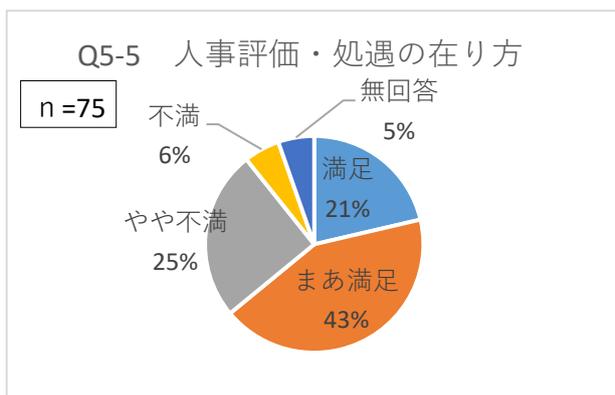
「満足」「まあ満足」と回答した人が54%だったのに対して、「やや不満」「不満」と回答した人は39%でした。



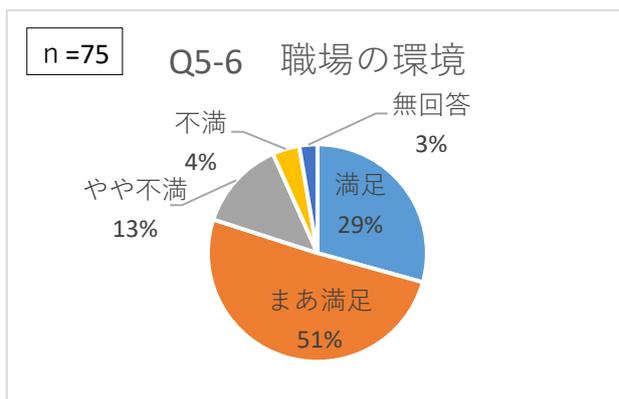
「満足」「まあ満足」と回答した人は合わせて78%でした。



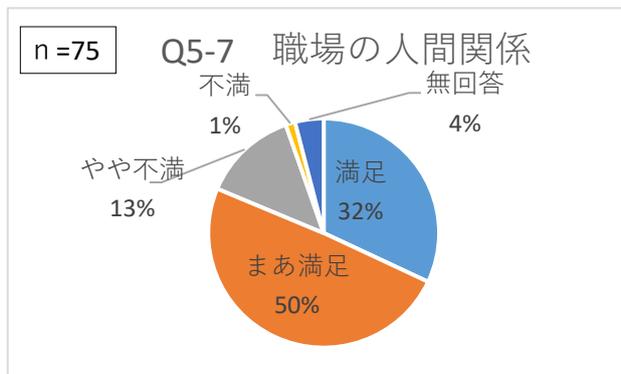
「満足」「まあ満足」と回答した人は67%、「やや不満」「不満」と回答した人は28%でした。



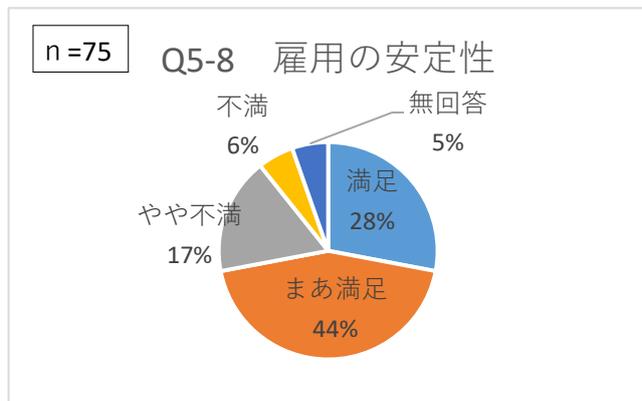
「満足」「まあ満足」と回答した人は64%、「やや不満」「不満」と回答した人は31%でした。



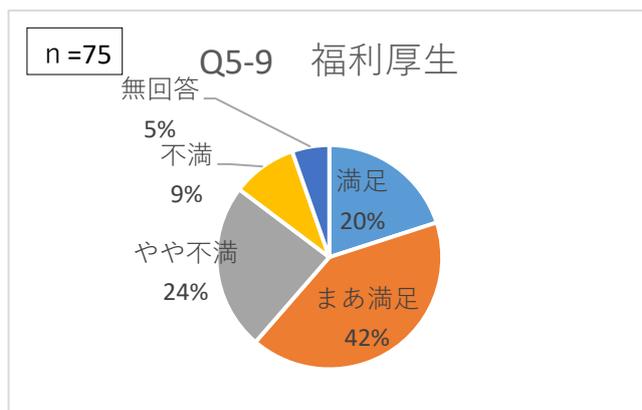
「満足」「まあ満足」と回答した人は80%、「やや不満」「不満」と回答した人は17%でした。



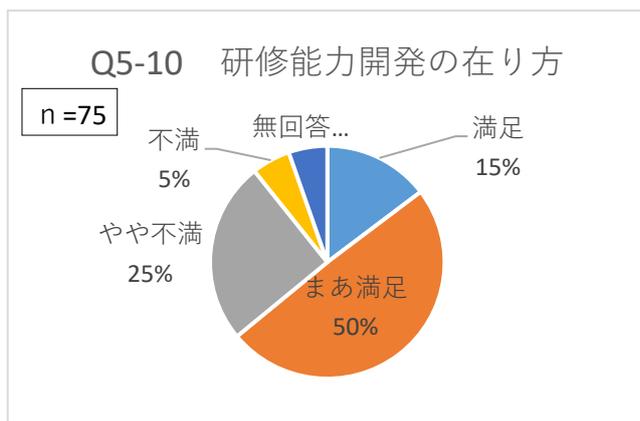
「満足」「まあ満足」と回答した人は82%、「やや不満」「不満」と回答した人は14%でした。



「満足」「まあ満足」と回答した人は72%、「やや不満」「不満」と回答した人は23%でした。

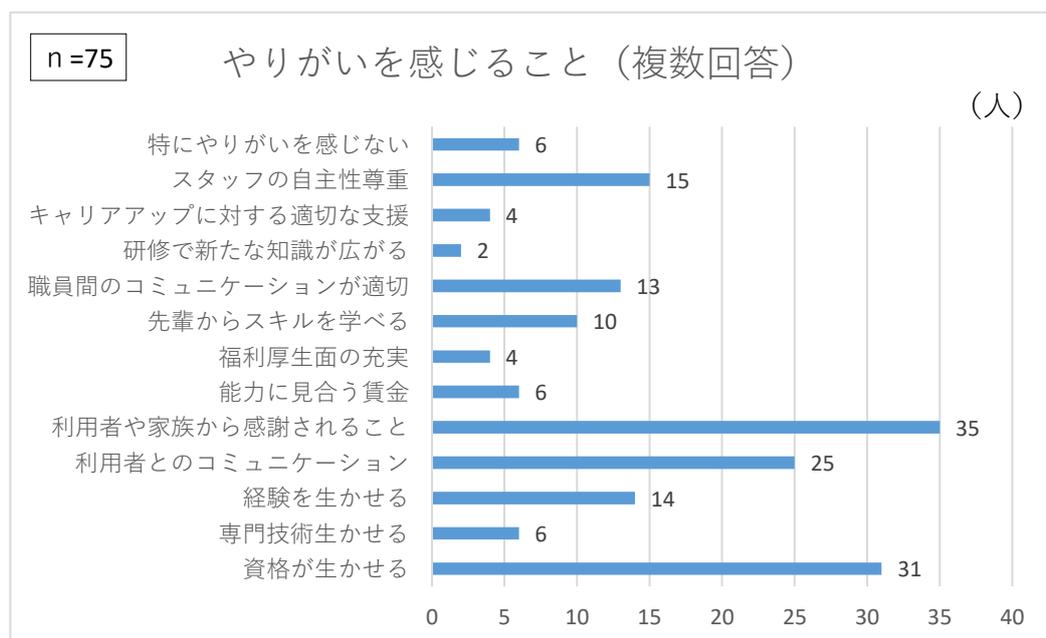


「満足」「まあ満足」と回答した人は62%、「やや不満」「不満」と回答した人は33%でした。



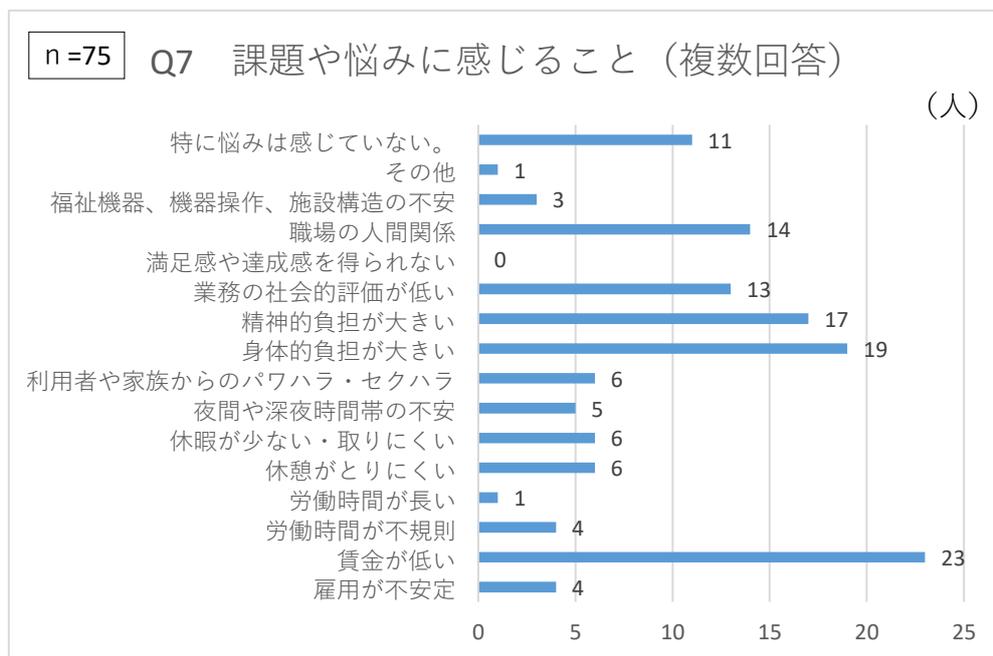
「満足」「まあ満足」と回答した人は65%、「やや不満」「不満」と回答した人は30%でした。

Q6 やりがい（働きがい）を感じること



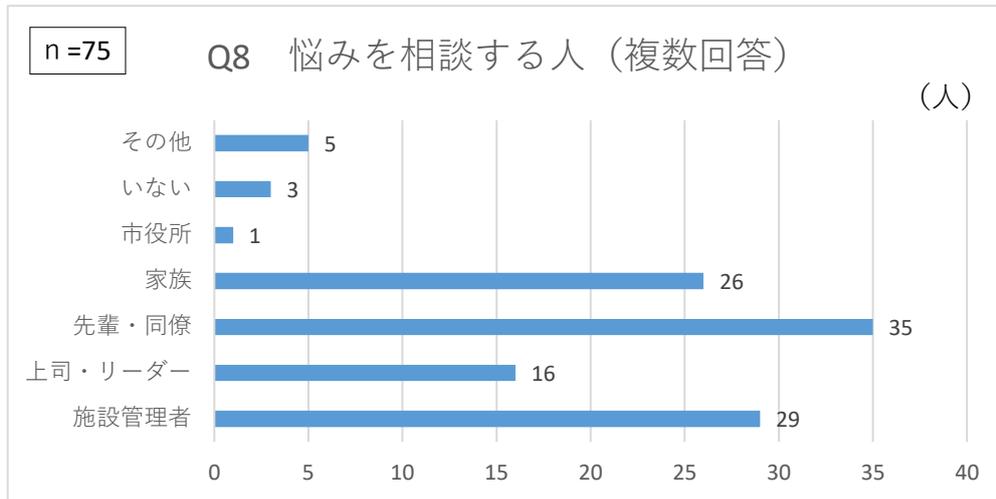
やりがいを感じることで1番多かったのは「利用者や家族から感謝されること」でした。次いで「資格を生かせること」でした。

Q'7 就業における課題や悩み



課題や悩みに感じることは、「賃金が低い」が1番多く、次いで「身体的負担が大きい」「精神的負担が大きい」でした。

Q8 相談する人



悩みを相談する人は「先輩・同僚」が1番多く、次いで「施設管理者」「家族」でした。

4 人材確保・定着に関して感じていることがあれば番号に○をつけてください。

(上位3つまで)

1	優秀な人材の確保が困難
2	職員の介護業務に関する知識や技術の不足
3	職員の介護業務に臨む意欲や姿勢に問題がある
4	新規入職者の応募者が少ない
5	制度や人員基準がよく変わるため、継続した雇用が困難
6	人員基準を満たす必要があり、募集に時間をかけられない
7	雇用管理等についての情報や指導が不足
8	介護現場から離れて、他の業界に転職する者が多い
9	小学校・中学校・高校の教育課程に福祉・介護についての授業を取り入れて欲しい
10	進路指導担当教員への働きかけ
11	社会全体で介護職のイメージアップへの取組をして欲しい
12	その他 ()

5 外国人人材の受け入れ状況について当てはまるものに○をつけてください

- 1 過去に受け入れたことがあるが今はない ⇒ 6へ
- 2 現在受け入れている ⇒ 6へ
- 3 受け入れたことがない ⇒ 7へ

6 外国人人材の受け入れに際して課題と考えることがありますか

- 1 ある ⇒ 課題をご記入ください (
- 2 ない

7 人材募集を行う場合どのような方法・媒体を使っていますか。あてはまるものの番号に

○をつけてください

また、その中で、効果のあったものの番号に◎をつけてください。

(複数回答可)

	方法・媒体	○	◎
1	ハローワーク		
2	新聞折り込みチラシ		
3	タウン誌・フリーペーパー等		
4	事業所内に貼り紙掲示		
5	チラシのポスティング		
6	事業所広告内に掲載		
7	ホームページ		
8	学校等へ紹介依頼		
9	インターンシップ、実習生、ボランティア		
10	知人・友人等関係者の紹介		
11	就職説明会・就職フェア		
12	その他 ()		

第9期介護保険事業計画策定のための 介護事業所に関するアンケート調査(従事者票)

令和5年6月1日現在の状況で、コロナウイルス感染症による影響は考慮せずにお答えください。

回答期限: 令和5年6月30日(金)

回答方法: 同封の返信用封筒にてご返送ください

1 就職のきっかけとなったこと、あるいは求人情報を何で知りましたか。(上位3つまで)

- 1 ハローワーク
- 2 新聞折り込みチラシ
- 3 タウン誌・フリーペーパー等
- 4 チラシのポスティング
- 5 ホームページ
- 6 学校等で紹介された
- 7 インターンシップ、実習生、ボランティア
- 8 知人・友人等関係者の紹介
- 9 就職説明会・就職フェア
- 10 その他 ()

2 現在の事業所勤務年数はどのくらいですか。(1つだけに○)

- | | |
|------------|-----------|
| 1 6か月未満 | 5 3～5年未満 |
| 2 6か月～1年未満 | 6 5～7年未満 |
| 3 1～2年未満 | 7 7～10年未満 |
| 4 2～3年未満 | 8 10年以上 |

3 あなたが現在の勤務先を選んだ理由は何ですか。(上位3つまで)

- 1 生活を維持するため
- 2 待遇が良かった
- 3 職場環境が良さそうだった。
- 4 自分や家族の都合の良い時間(日)に働けるから
- 5 家族・友人に勧められたため
- 6 資格・技能を生かすため
- 7 福祉の仕事に興味・関心があったため
- 8 知識や技能を身につけたかったため
- 9 この仕事はこれからの時代にますます必要になると考えたから
- 10 その他 ()
- 11 特に理由はない

4-1 あなたが過去1年間に参加した研修や講習会の数を教えてください。(1つだけに○)

- 1 1回 → 4 - 2 へ
- 2 2回 → 4 - 2 へ
- 3 3回以上 → 4 - 2 へ
- 4 0回 → 5 へ

